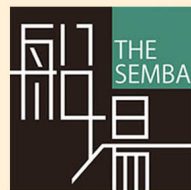
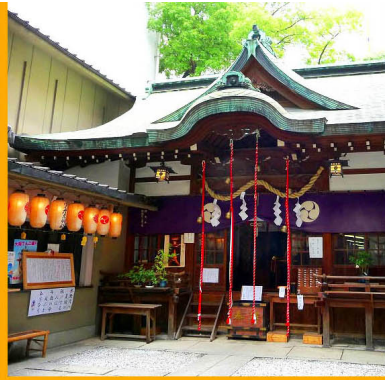
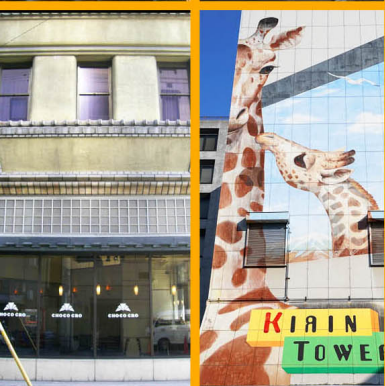


「まちダネ」
連載記者
と語る



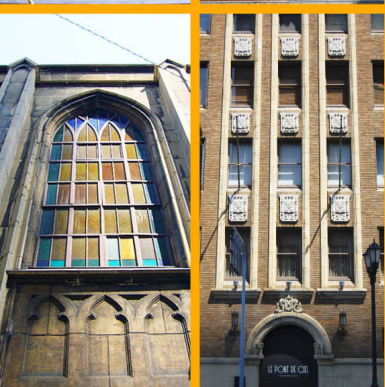
船



S
E
M
B
A



第1部 講演
船場への回帰
—『まちダネ』取材を通じて
大峯 伸之(朝日新聞記者)



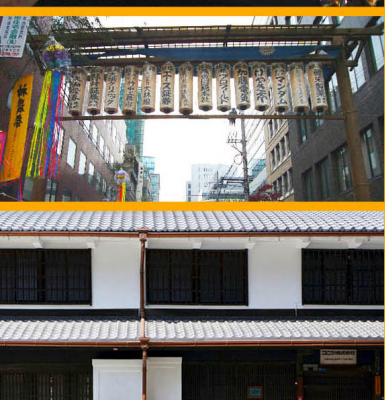
場



第2部 船場トーク
船場を元気な街にするには
『まちダネ』連載記事に
登場された方々と共に



綿業会館 館内見学会
講演・船場トークの前に催行します



平成 28年
10月7日 金 開場18:00
開演18:30
綿業会館 本館7階 大会場
大阪市中央区備後町2-5-8

次のコースからお選びください

※申込・問い合わせ先は裏面に記載

コース	内容	時間	参加費	定員
Aコース	講演と船場トーク	18:30-20:30	1,000円	120名
Bコース	館内見学会 + 講演と船場トーク	17:15-20:30	1,500円	30名

◎募集は先着順で、各コース別に満員になり次第締め切ります

◎参加費は当日受付でお支払ください

◎館内見学会参加者は、17時に綿業会館1階受付にご集合ください

主催：船場まつり推進協議会

共催：船場げんきの会
船場倶楽部

講師：大峯 伸之（朝日新聞記者）



和歌山県出身。1980年朝日新聞社に入り、大阪社会部、論説委員（大阪在勤）などを経て、現在は大阪社会部員。2014年春から朝日新聞夕刊（近畿）に「大峯伸之のまちダネ」を連載中。これまでに京町家をめぐる人々や「造船の街今昔（大阪）」を描き、今春からは大阪・船場を舞台に都心再生の動きを紹介している。連載は通算500回を超えた。



空から見た大阪・船場地区とその周辺＝大阪市中中央区、本社ヘリから、伊藤進之介撮影



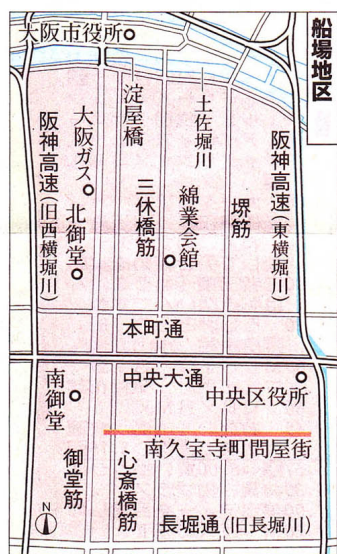
郊外の家ではなく、交通便利な都心に住みたい。そう思う人が増えているのだから。商都・大阪の中心部にある船場地区（大阪市中中央区）へも、人口の回帰が続いている。

船場への回帰

①

動き始めた大阪の「へそ」

No.451



船場は東横堀川、西横堀川、土佐堀川、長堀川という4本の川に囲まれた地域だ。豊臣秀吉が大坂城を建てたころから形づくられ、約400年の歴史がある。東西に約1キロ、南北に約2キロ、今では西横堀川と長堀川は埋め立てられ、東横堀川の上は高速道路が走っている。船場に居を構えていく。船場に居を構える人が増え、人口は95年の約3800人から15年の約1万3千人までに。小犬を

連れた女性が戦前のレトロ建築の前を行き交い、歴史の跡を見ようと訪ねてくる人たちの姿もよく見かけられる。

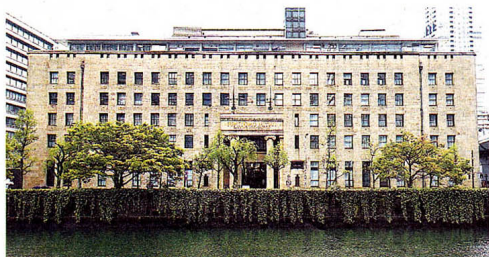
「船場はいわば大阪の『臍』である」。大阪生まれで、日本経済史家の故・宮本又次は著書「船場―風土記大阪」にこう書いた。元気をなくしかけていた船場に、新たなまちづくりの動きが出ている。

京都の「京町家」をテーマに2035

回、大阪・住之江を舞台にした「造船の街今昔」を215回にわたり連載してきた「大峯伸之のまちダネ」。3シリーズ目の今回は、大阪・船場で生きる人たちが街づくり、歴史的な建造物を訪ねていきます。

（右）朝日新聞2016年5月9日夕刊・（左）2016年6月17日夕刊

大峯伸之のまちダネ



土佐堀川の北側から見た三井住友銀行大阪本店ビル

住友村の変容 ①

北に土佐堀川、西に阪神高速道路環状線の高架。「大阪のへ

そ」といわれる船場（大阪市中中央区）の西北の端に地下1階、地上6階（一部7階）建てのレトロな建物がたたずむ。三井住友銀行大阪本店。2001年のさくら銀行との合併まで、住友銀行の本店が入っていた。1895（明治28）年、住友家の本拠が入るビルとして構想された。工事は2期におよび、着工から8年後の1930（昭和5）年に完成。「住友ビルディング」と呼ばれ、一帯は住友グループの各企業が本社を構える「住友村」という通称で親しまれるようになった。

「住友の原点」保存の道へ

そして、現代。オフィスビルが増えるなか、今は大阪本店と呼ぶビルを取り壊して新たな高層建物をつくる選択肢もなくはなかった。だが、「最終的には経営判断」（三井住友銀行広報部）として保存の道を進むことに。大阪を代表する近代建築を守ったのは、「住友の原点」への思いだったのかもしれない。昨年5月、大阪本店は半世紀ぶりの大改修が終わった。やや黄色を帯びた外壁はきれいなになり、夜間はライトアップされている。「住友村」の歴史が感じられ、なんとも趣がある。

No.478

【会場・アクセス】



綿業会館

（重要文化財）



昭和6年（1931年）12月、日本綿業倶楽部の建物として竣工し、翌年1月1日に開館。現在は、指定重要文化財。設計は渡辺節氏、ヘッドドラフトマンには村野藤吾氏が参画。

〒541-0051 大阪市中央区備後町2丁目 5-8
TEL 06-6231-4881

【表側写真提供】

Her大阪建築 <http://www.hetgallery.com>

（ジェー・ガーバー商会・大阪ガスビル・Growtecture S・御堂筋ダイビル・高麗橋野村ビル・新井ビル・旧大林組本店・適塾・旧大阪教育生命保険ビル・生駒ビルジグ・本町グラマシー・堺筋倶楽部・北浜レトロビル・ORIX 高麗橋ビル・小西家住宅）



地下鉄 御堂筋線 本町駅 ①または③番出口より 徒歩5分
地下鉄 堺筋線 堺筋本町駅 ⑭または⑫番出口より 徒歩5分

お申込み先

船場げんきの会・窓口担当（毛利）

【FAX】 072-892-8190

【電子メール】 ken4108@ric.hi-ho.ne.jp

氏名・希望コース・郵便番号・住所・電話番号・FAX 番号・メールアドレス、差し支えなければお勤め先か所属団体をご連絡ください

■お問い合わせ 090-3263-4108（毛利）